

なぜ 英語が話せないの

<26>

入試英語の問題作成には、ネ イティブ・スピーカーの意見を聞かへきた」と驚愕を鳴らす外国人は意外に多い。

ウイスコンシン大学のタイア ン・プレス準教授は「一昨年 夏、久留米大学医学部の音声 語学の客員助手に迎えられ、 夫のロバート向大教授留心と来 日、約七カ月間、久留米市に滞 在した。語学に興味のある夫妻 は、この間に共通一次英語問題 や九大の入試問題（いずれも一 昨年）を徹底研究したが「欠陥 だらけの問題に、二の向がつげ なかったほど、その内容を筑 後地方の若手英語教師で結成す る「久留米英語講習会」の講演 会を発表した。

タイアンさんによっても、共通 一次は選択肢をもつ二十五題の うち、十題が悪い問題の範ちゅうに入るシロモノ。続く五つの

問題も三題が文法的な間違いや 誤った表現があるなど、問題が 多い。

例えば、四つの解答の中から 正解を選ぶ選択肢問題は、複数 の正解をもつ問題がある。問題 九の He knows li title of mathem

（悪賢い奴）は十九世紀の表現 で英米では既に死語化してい ます。 夫妻は、日本の英語問題がも たらぬ視覚読み、書き、文法（ title of mathem に頼っている）指摘。前置詞な

欠陥だらけの入試問題

英米で死語化した単語も

atics,) (of ch emistry のカッコの中 にはのstair lees sが正解とされているがの as well as も文脈 次第では正しい。また、最後の

どは機械的に暗記して正解を答 べられるが、実際の会話で応用 するレベルには到達しておらず 「結局、学校を卒業すれば何に も役に立たない勉強だったと悟 るようだと、入試の在り方を おり、それだけ実用英語軽視に 識がないと理解できず、これを

つながっているを分析。一昨年 三月の九大入試の問題三（ギリ シヤの哲学者ピタゴラスの哲学 思想を難しい文章で紹介）など は「米国の優秀な高校生でも知 下すべきだ」と話している。



「日本の入試英語は欠陥だらけです」と語るダイアンさん

完全な日本語に翻訳しても、ほとんどの受験生には内容がよく分からないだろう」と言う。 こうした欠陥入試に対し、夫妻はヒアリング問題の導入、とくに音の世界から遊離した旧態依然の大学入試の改革が最大の急務だと強調。難問山積で、なかなかヒアリング出題に踏み切らない大学当局についても「日本本と教育機種の発達した国は、なく、案するより生むがやむしの気持ちで、一刻も早く英断を下すべきだ」と話している。